

島根県東部農林水産振興センター出雲家畜衛生部(出雲家畜保健衛生所)
〒699-0822 出雲市神西沖町 918-4 TEL(0853)43-7900 FAX(0853)43-2801

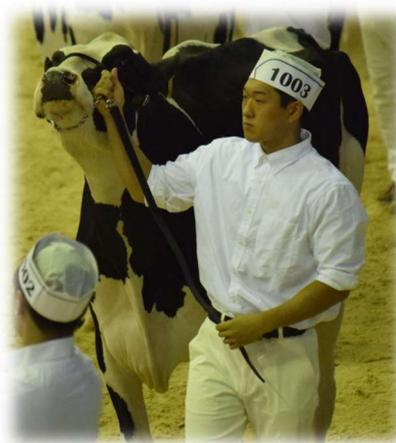
第16回 全日本ホルスタイン共進会 優等賞3席に輝く

第16回全日本ホルスタイン共進会が昨年10月25日～26日に北海道で開催され、出雲市の河村保志さん・博文さん親子が経産牛第10区に出品された「リバービレッジハンコッククリスタル」号が最上位グループの優等賞3席に輝きました。このことは島根県史上最高位、今回では中四国地区トップの成績でした。

この出品牛は若い経産牛らしい資質と体格の調和がすばらしく、体型の完成度が高く評価されるとともに、特に乳頭の配置等機能的な乳器だったことが更に評価を高めました。

そして何より、永い年月、河村牧場で育種改良された「リバービレッジ」でこの結果を得られたことに敬意を表します。

(森脇)



おめでとうございます！

高病原性鳥インフルエンザについて

令和7年度18事例(1月30日時点)の発生が報告されています。中四国地方では12月2日に鳥取県米子市で発生したほか、岡山県、香川県で発生が続いており、県内侵入のリスクが高い状態が続いています。

高病原性鳥インフルエンザの防疫対策

○早期発見、早期通報

ほかの疾病を疑う場合や換羽誘導中であっても、異常があれば通報してください。

○飼養衛生管理の徹底

特定の項目に偏らず、全項目を継続的に遵守してください。

○野鳥対策

死鳥や廃棄卵の適切な処理、樹木の除去・枝払いなどをしてください。

平時から発生予防・まん延防止にご協力いただいているところですが、あらためて上記事項の遵守をお願いいたします。(加藤)

アフリカ豚熱について

アフリカ豚熱は豚、イノシシに感染する病気で、感染した豚やイノシシとの接触で広がります。感染すると発熱や全身の出血性病変を示し、豚熱より致死率が高く、有効なワクチンや治療法が無いため、発生すれば養豚業に甚大な影響を及ぼす疾病です。

国内でこれまで発生は確認されていませんが、2018年8月に中国においてアジア初の発生を確認されて以降、アジア全域に感染が拡大し、現在東アジアで発生していないのは日本のみで、国内への侵入リスクが大変高い状況です。

国は侵入防止のため肉製品等の持ち込みを防ぐ啓発活動や空海港での検疫強化を行い、また、登山者・キャンパー向けの啓発パンフレットを作成し侵入防止・感染拡大の取組を強化しています。

万が一、いつもと異なる野生イノシシの死亡を確認されましたら、最寄りの市町村にご連絡をお願いします。

養豚飼養者の皆様は、改めて飼養衛生管理基準の再徹底により、本病の侵入防止対策に万全を期すとともに、飼養豚の様子が変わるときは速やかに家畜保健衛生所に連絡をお願いします。

なお、アフリカ豚熱は豚熱と同様に人には感染しません。（濱村）

【参考：農水省からの啓発パンフレットなど】



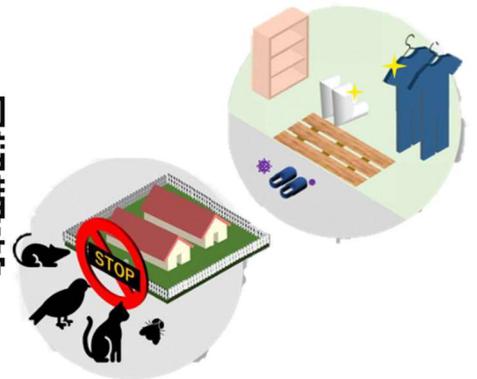
侵入防止のお願い



登山者・キャンパーへのお願い



世界および韓国の発生状況



飼養衛生管理基準 定期報告書について

家畜を飼養している方は、年に1回、定期報告書を家畜保健衛生所に提出していただくことになっています。まだ提出していただけていない方には、定期報告書とチェック表を同封しています。記入例を参考に記入していただき、郵送、メール、当所へ持参のいずれかの方法で**2月末日**までに提出してください。

<記入のポイント>

自己点検チェック表の様式が変更になりました。

できている or できていないの項目に加え、今年から一部できているという項目が追加されました。

完全にできていなくても一部取り組まれている対策等がある項目は、一部できているに☑を入れて、余白にできていることを記載してください。

定期報告書

チェック表

お忙しいこととは思いますが、よろしくお願いいたします。（山本）

検査や巡回、飼養衛生管理基準の遵守状況確認等で伺った際にご提出いただいた方は再度の提出の必要はないので同封していません。
お忙しい中ご対応いただきありがとうございました。



ウイルス性異常産について

本年度の異常産ウイルスサーベイランスの結果、島根県内のほぼ全域で異常産ウイルス（アイノウイルス）の侵入が確認されました。

春先にかけて異常産が発生するリスクが高くなっていますので、分娩中の事故などに十分注意してください。

本サーベイランスにご協力いただいた農家の皆様には、改めて感謝申し上げます。（加藤）

【アイノウイルスとは】

牛やめん山羊のアイノウイルス感染症の原因。

初夏から秋にかけてヌカカ（右図）

など吸血昆虫によって伝播し、

夏から秋に流産、翌春にかけて先天異常産子の出産を引き起こす。



ウシヌカカ 体長 1-3 mm

出典：農研機構

異常産子（体形の異常）



出典：社団法人 全国家畜産物衛生指導協会

ウイルス性異常産の予防には

春の搾乳牛・繁殖和牛への異常産ワクチン接種 が有効です。

初めての年は2回、翌年からは毎年1回の接種が必要です。

接種のお申し込みは地域の家畜自衛防疫団体にお問い合わせください。

法5条検査（ヨーネ病検査）について

ヨーネ病は、頑固な下痢を引き起こす牛等の伝染病で、全国で毎年約千頭の発生が認められています。ワクチンや治療法がないため、感染牛の摘発・淘汰等の対策が行われています。

島根県では、家畜伝染病予防法第5条に基づき、24か月齢以上の乳用牛および肉用繁殖牛のヨーネ病検査を実施しており、令和8年度の対象地域は出雲市（旧出雲市および旧斐川町を除く地域）および飯南町（旧赤来町）です。対象地域の畜産農家および関係機関の皆様には、ご協力をお願いします。

なお、本年度の検査は終了し、全頭陰性を確認しました。ご協力ありがとうございました。（藤原）

年度	対象地域
令和8年度	出雲市（旧出雲市および旧斐川町を除く地域）、飯南町（旧赤来町）
令和9年度	奥出雲町（旧横田町）
令和10年度	奥出雲町（旧仁多町）、雲南市（旧吉田村および旧掛合町）
令和11年度	雲南市（旧吉田村および旧掛合町を除く地域）、出雲市（旧斐川町）
令和12年度	出雲市（旧出雲市）、飯南町（旧頓原町）

空胎期間の短縮で目指そう1年1産！

フレッシュチェックとは？

分娩後、およそ30～40日で、卵巣の機能が回復しているか、子宮の修復が正常に進んでいるかを確認することです。併せて体重（BCS）の変動や肢蹄の問題なども観察します。

メリットは？

分娩後、子宮は炎症を起こしていることがあります。卵巣や子宮に異常があれば、すぐに治療が可能です。授精の適期であれば、すぐに人工授精ができます。

繁殖雌牛が、1年に1産してくれることは、飼養している方にとって、経済的にも重要です。

● 繁殖成績の向上

● 空胎期間の短縮

● 適正な繁殖管理

フレッシュチェック、発情発見
早期妊娠鑑定



飼養方法（タイストールなど）によっては、発情の発見が難しいこともあります。

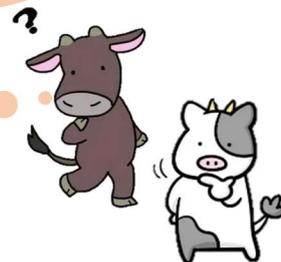
エコーで卵巣や子宮の状態を確認すると、今、繁殖周期のどのステージにいるのか、分かりやすくなるんだよ！

発情が分かりにくいな…

最近、分娩間隔が長いようだな…

分娩後、粘液が汚れているみたいだな…

異常を感じたら、獣医師へ相談してみましょう！



(森山)

編集後記：新しい年の幕が開け、早1か月が過ぎました。寒さの中に春のような暖かい日もありますが、人にも動物にも体調管理が難しい日が続きます。皆さまお変わりないでしょうか。今回も冬から春にかけて流行る家畜の伝染病の話がたくさんさせていただきました。家畜を飼養される皆さまにおかれましては、命を扱うお仕事をされているため、心配は尽きることがないと思います。皆さまには、飼養衛生管理に取り組んでいただき、引き続き家畜を守っていただきますよう、お願いいたします。（小林）